

総合的な学習の時間（SHEL） 学習指導案

場 所 盛岡市立杜陵小学校6年1組

生 徒 盛岡市立下橋中学校3年2組

(男18名 女16名 計34名)

指導者 吉 田 孝 泰

1 単元について

(1) 単元名 「SHEL 個人レポート」

(2) 総合的な学習の時間で目指す生徒像

下橋中学校では「総合的な学習の時間」を『SHEL』と名付けている。『SHEL』とは、S（下橋中で）、H（人と）、E（環境を）、L（学ぼう）の頭文字をつなげたものである。

この「総合的な学習の時間」『SHEL』で目指す生徒像は、「豊かな体験学習をもとに、自ら課題を考え、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決することを通して、学び方やものの考え方を習得できる生徒」「地域における体験や人々との交流を通して、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組み、自己の生き方を考えることができる生徒」「自然との共存の中で社会に貢献している人々に学ぶことを通して、自然を大切にし、社会に貢献できる生徒」である。

(3) 三年間の指導経過

生徒は1学年では、『身近な対象に対する視点を持ち、基礎的な知識とともに自然や生命を感じる心を育てる』という総合的な学習の時間の学年目標のもと、森林体験学習（SHEL 道場）や川体験学習などを通じて、美しい物や自然や生命に感動する心、互いに思いやる心、互いに認め合い共に生きていく態度、地域の伝統や文化を愛し、誇りに思う心について学んできた。

2学年では、『現代社会から学び、職場訪問や体験を通して、生きることの意味にふれ、自己の生き方について考えることができる』という総合的な学習の時間の学年目標のもと、職場訪問体験学習、修学旅行でのNPO・NGO訪問や「緑のサヘル」講演会などを通して、人間としての生き方についての自覚、社会を形成している様々な人との繋がりを経験するなかで、自分の価値観を磨き、望ましい職業観・勤労観や社会奉仕の精神を学んできた。

3学年では、『人類を見つめ、国際的視野に立ち、理想像や未来像を考えながら、社会づくりに共に貢献しようとする態度を育てる』という総合的な学習の時間の学年目標のもとこれまでの学習に加え、「森は海の恋人」体験学習を行い、室根山への植林活動や漁師の畠山重篤さんの講演会などを通して、人としてのよりよい生き方を探求しようとする態度、自然との共存の中で地域や社会に貢献する態度、未来への夢や目標を持ち、自らその実現に向かおうとする態度、国際理解や協調の態度を学んできた。

2 単元の指導にあたって

(1) 生徒について

生徒は今までの SHEL の学習を通じて、自然環境は地球規模で循環しており、人間の身勝手な活動により地球全体に大きな悪影響を及ぼしていることやその現状を打開するため日夜活動を続けている人々がいることを学び、環境問題への興味や関心は非常に高くなっている。そこで、3年生では、人としてのよりよい生き方を探求しようとする姿勢、自然との共存の中で地域や社会に貢献しようとする態度、未来への夢や目標を持ち、自らその実現に向かおうとする態度、国際理解や協調の態度を育てたいと考えこの単元を設定した。

(2) 教材について

現代社会には、人類の存続を脅かす様々な課題が存在し、環境問題がその典型として上げられる。いずれの環境問題も解決が困難で、中には解決策すら見つかっていないものもある。これらの課題は、人類が行っている行動が将来にあたえる影響を、十分に把握していないことや把握はしていても人類の利益のために軽視したりしたためさらに深刻になっているものがある。この反省に立ち、将来世代にわたって持続可能な社会の実現を考えなければならない。このように人類が存続できる社会を形成するため、地球市民の一員として、現代社会の抱える様々な課題について、これまで様々な体験を通して学んだことを礎に、自分の考えをまとめ、周りに発表させるために有効な題材といえる。

(3) 指導にあたって

○単元構成について

本単元は、3年間の『SHEL』のまとめとして、「SHEL 個人レポート」を作成する。「命」をテーマに、世界規模で起こっている人類の存続にかかわる事象を研究テーマとして、今まで学習してきた人と環境との関わり方や、世界で起こっている環境問題に対する対策などを調査することで環境との共存の中で地域や社会に貢献する姿勢、国際理解や協調の態度を育て、自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を身に付けさせたい。

テーマ設定場面では、これまで学習してきた環境問題等も交えながら、様々な環境問題について提示し、それらについての知識を出し合う活動をすることによって、世界にさまざまな環境問題が数多くあることや、それらの問題の原因や現状などを十分に理解していないことに気付かせ、課題意識や探究意欲を高めさせたいと考えた。

個人レポート作成では、生徒自らが興味関心をもったテーマを設定し個人レポートを作成する上で、単に環境問題の内容を調査するだけでなく、どうしてこのような環境問題がおこり、具体的にどのような被害が出ているのか、解決するためにはどうしたらいいのかを考えさせることで、生徒自身が主体的に探究できる視点をもたせたい。班・学級・学年の発表会では、環境問題についての発表を行い、また他の生徒の発表を聞く中で地球上には様々な環境問題があることを再確認し、その解決に向けてどうしたらよいかを班・学級・学年で考えることで自然との共存の中で世界に貢献しようとする態度を育成したい。

○言語活動について

個人レポート作成活動を通して、様々な環境問題についての様々な情報を収集し、その実態を正確に捉え、その中から、必要な情報をまとめる活動を設定していく。学級・学年の個人レポート発表ではパソコンのプレゼンテーションソフトを活用することで、自分の研究や意見を相手に分りやすく発表するためにはどうしたらよいかを考えさせ、自分の考えを伝える力を高めさせたい。

3 単元指導計画

(1) 単元目標

人類の生命を脅かす環境問題を研究するなかで、自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を身に付けることができる。

(身に付けさせたい資質や能力)

<考える力>

- ・3年間追究した環境問題から、課題と解決策について考える。

- ・環境問題に対する見方や考え方を個人レポートに作成し、自分の思いを他者が分るように伝える。

<自らかかわる力>

- ・世界で起きている環境問題について、自らの生活に立ち返り主体的にかかわる。
- ・環境問題の解決策の探求し、自分で整理した考えをもつ。

<共に生きようとする力>

- ・人間と自然環境とのかかわりに気づき、広い視野に立ち行動しようとする。

<未来を創ろうとする力>

- ・持続可能な社会の在り方を考え、自ら実践する。

(2) 単元の指導計画 (19時間)

時間	主たる活動	支援
事前指導 (1)	<p>○3年間の『SHEL』のまとめとして、「命」をテーマに、世界規模で起きている人類の存続にかかわる事象を研究テーマとして、今まで学習してきた人と環境との関わり方や、世界で起きている環境問題に対する対策などを調査するし、「SHEL 個人レポート」を作成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>全体課題 「SHEL 個人レポート」を作成しよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生からの SHEL 学習で学んできた「SHEL 道場」「川体験学習」「職場体験」「森海体験学習」などを振り返り、今までの学びを活用しながら他の環境問題について考えさせる。
つながりを知る (3)	<p>○研究テーマを意識し、これまでの学習以外の環境問題について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がどんな環境問題を調べたいか意識をさせたうえで様々な環境問題を提示する。
テーマ設定 (1)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>人類の存続を脅かす環境問題について研究しまとめよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なテーマにするため、焦点を絞らせる。
個人レポート作成 (9)	<p>○関連する資料を収集し、読み取りを行う。 ○資料を引用するのではなく自分なりの考えを書くことを意識する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを選んだ動機、設定したテーマにおける現状や原因、今後の進展や対策などを明確にして作成させる。

班発表会 (1)	○調べた結果を各学級の班内で発表する。 ○個人レポートについて各班内で質疑応答し、班の代表者を決める。	・調査・研究した結果を確認し、環境問題についての理解を深めさせる。
発表準備 (1)	○班代表の個人レポートを班代表として学級で発表するため、班員全員で研究のプレゼンテーションの準備を行う。	・分かりやすく伝えるための方法を考えさせる。
学級発表 (1) 本時	○調べた結果を各学級内で発表する。 ○個人レポートについて学級内で感想を発表し合う。 ○学年発表学級の代表者を決める。	・発表を聞くときのポイントを振り返り、発表を聞いてどんなことが印象に残ったかを確認する。
学年発表 (1)	○調べた結果を学年内で発表する。 ○個人レポートについて学年内で感想を発表し合う。	・調査・研究した結果を確認し、環境問題についての理解を深めさせる。
振り返り (1)	○単元を通して学習を振り返る。	・人類の生命を脅かす環境問題を研究するなかで学んだことをまとめさせる。

4 本時の指導

(1) 本時の目標

相手の心を動かす発表について考えることができる。

(身に付けさせたい資質や能力)

<考える力>

- ・環境問題に対する見方や考え方を個人レポートに作成し、自分の思いを他者が分かるように伝える。

(2) 本時の展開

学習過程	学習活動	教師の働きかけ (○) と予想される反応 (・)	指導上の留意点等● 評価○
課題把握 5分	1 課題を把握する	○前時までの確認を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">相手の心を動かすための発表について考える。</div>	●生徒の言葉で課題を設定させたい。

自力解決 5分	2 自力解決を行う	○発表を聞くときのポイントを考える。 ・伝えたいことに注意して聞く。 ・発表者と自分の考えの違いに注意して聞く。 ・自分の生き方に生かされることを見つけたい。 ・共感できることがあるか考えながら聞く。	●前時の学習を生かして考えさせる。
共同思考 35分	3 班代表の発表を行う	○発表を聞くときの視点を確認する。 ○各班の代表者が発表する。	●自力解決で出てきたポイントをもう一度確認し、発表を聞くときのポイントを明確にさせる。 ●発表を聞きながらノートにそれぞれの発表を聞いて感じたことをメモさせる。
	4 感想を発表し合う	○各班の代表者の発表を聞いて感じたことを発表させる。 ・発表者の考えや思いがとてもよく伝わった。これからは、自分に直接関係ないことでもよく考えて行動していこうと思った。 ・発表を聞いて、いろいろな環境問題があるなかで、環境に良いと思っていたことが、実は環境に悪影響を及ぼしているという面もあることがわかった。	○相手の心を動かすためにはどうすればよいか考えることができた。 【ノートへの記述・発表により評価】
学習整理 5分	5 学習のまとめをする	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 相手の心を動かすためには、調べた事をもとに自分の考えを明確に述べる ことが大切である。 </div> ○次時の学年発表に向けて、どのようにしたらさらによい発表になるかを確認する。	

(3) 評価規準

身に付けさせたい 資質や能力	評価規準	支援を要する生徒への手だて
考える力	相手の心を動かすためにはどうすればよいかを考えている。	発表を聞くときのポイントを振り返り、発表を聞いてどんなことが印象に残ったかを確認する。